

第 1 部会 観光・シティプロモーション

1 審議会での主な意見

■観光

- ・観光＝地域の魅力づくりをより高める、活性化につながる、幅広い事業者が関わる
- ・歴史や文化、自然を含め、区内に観光資源はたくさんある⇒逆に明確なイメージが湧かない
- ・「江戸のまち」＝江戸文化が組み合わさって、墨田の独特な下町文化が根付いている
- ・住民と観光客がコミュニケーションをとれるまちづくり
- ・他分野との連携、広域連携
 - ・ 1 本化して盛り上げる
- ・まち全体に歓迎してもらえる雰囲気
- ・区民がどのように訪れる人を歓迎していけるかが重要
 - ・ 区民に観光の利点を伝える
- ・また訪れたいまち、いつか住んでみたい憧れのまち
 - ・ 移動の便利さ（自転車マナー）
- ・本物がテーマ
- ・テーマパークを参考にしたアプローチ（あったという目的の観光）・面としてすみだの魅力を出す

■シティプロモーション

- ・区の魅力を自分たちで知る、自分の言葉で発信してもらう、伝わる、参加してもらう、輪が広がる
- ・次世代に伝える
 - ・ 伝え合い 1 番の口コミは友人、知人
 - ・ すみだを愛する人、すみだマニア
- ・行政は区民が知れるような情報発信や環境づくりが大切
- ・「人」
 - ・ 将来に向かったワクワク感
 - ・ すみだらしさの徹底
- ・住んでいる人、働いている人がプライド高くすみだを誇りに思ってもらう
- ・日常的な当たり前の土台が大切⇒愛着につながる

観光・シティプロモーションについてのまとめ

第1部会 観光・シティプロモーション

2 10年後の未来予想図

☆観光・シティプロモーション「何度でも訪れたい憧れのまち」

国内外から多くの人がすみだを訪れることで、地域の経済が活性化し、新しいつながりが生まれ続けています。暮らす、働く人たちのすみだへの愛着と誇りが高まり、誰もが一度は訪れてみたい、一度来た人はまた来たい、そして、いつかは住んでみたい、憧れのまちになっています。

■あらゆるものを魅力にする

大相撲、花火、ものづくりなど、江戸を起源とする観光資源、すみだトリフォニーホールや東京スカイツリーなどの文化観光拠点に加え、地域のお祭りや豊かな水辺など、すみだは多彩な魅力であふれています。様々な資源が連携し、重なり合うことで、まちの魅力を高めていきます。

■あたたかく迎える

まちを挙げたあたたかい歓迎が「また来たい」につながります。観光が持続可能であるために、訪れた人も、迎える側も、心地よく感じられる環境づくりを進めます。

■伝え合い、広げていく

より魅力的なすみだの実現は、暮らす、働く一人ひとりが、まちの良さを知るところから始まります。地域に関心を向け、自ら発信したくなるようなしくみづくりに取り組みます。